

## 事例① 教育を実施するための意識調査

食料品  
製造業

株式会社不二家

安全意識調査アンケート結果分析（YESと回答した割合、合計の比率の高い順）

(%)

|      |                                  | 合計    | 年齢別   |        |        |        |       | 勤続年数別 |      |       |        |       | 雇用区・役職別 |      |       |      |       | 部署別  |      |      |      |      |
|------|----------------------------------|-------|-------|--------|--------|--------|-------|-------|------|-------|--------|-------|---------|------|-------|------|-------|------|------|------|------|------|
|      |                                  |       | 20歳以下 | 31~40歳 | 41~50歳 | 51~60歳 | 61歳以上 | 3年未満  | 3~5年 | 6~10年 | 11~20年 | 21年以上 | 係長      | 班長   | 組長    | 一般職  | パート   | 仕込   | 成形   | 焼成   | 包装   | その他  |
| 回答者数 |                                  | 1,898 | 32    | 277    | 448    | 430    | 188   | 559   | 357  | 489   | 366    | 104   | 30      | 67   | 34    | 375  | 1,377 | 286  | 314  | 65   | 999  | 171  |
| 1    | トラブルや清掃時に機械を停止させて作業している          | 97.9  | 3.9   | 97.1   | 97.3   | 98.4   | 97.3  | 98.4  | 98.9 | 97.7  | 97.2   | 96.2  | 93.1    | 98.5 | 100.0 | 97.9 | 98.0  | 97.5 | 97.4 | 96.9 | 99.0 | 95.8 |
| 2    | 決められた通路(通路テープ区域内)を歩いている          | 96.4  | 5.0   | 94.9   | 96.0   | 97.0   | 98.4  | 97.3  | 96.4 | 94.9  | 96.7   | 96.2  | 90.0    | 94.0 | 97.1  | 95.5 | 96.8  | 94.4 | 96.5 | 95.4 | 97.5 | 95.9 |
| 3    | あなたは安全第一で仕事をしている                 | 96.3  | 5.9   | 94.2   | 95.5   | 97.9   | 97.9  | 98.2  | 96.4 | 94.5  | 95.1   | 97.1  | 93.3    | 91.0 | 97.1  | 93.3 | 97.3  | 93.0 | 99.0 | 93.8 | 97.2 | 93.0 |
| 4    | 保護具が指定された場所では保護具をつけている           | 95.6  | 6.3   | 93.1   | 94.8   | 96.8   | 98.2  | 97.7  | 96.2 | 94.4  | 94.6   | 94.7  | 91.7    | 92.6 | 100.0 | 95.2 | 96.1  | 93.6 | 97.6 | 94.9 | 96.8 | 91.7 |
| 5    | 機械を動かすときは、安全確認と合図をしている           | 95.3  | 4.5   | 93.8   | 94.8   | 97.3   | 98.1  | 96.2  | 94.8 | 94.3  | 96.6   | 94.9  | 96.7    | 94.0 | 100.0 | 94.0 | 95.7  | 92.6 | 97.8 | 94.9 | 96.9 | 91.5 |
| 6    | 物は通路に置かないようにし、決められた場所に置いている      | 95.1  | 4.1   | 94.9   | 94.6   | 95.8   | 98.9  | 96.7  | 93.6 | 94.9  | 96.7   | 96.2  | 94.3    | 97.1 | 97.3  | 97.3 | 97.3  | 97.3 | 97.3 | 97.3 | 97.3 | 97.3 |
| 7    | 職場の人たちと顔を合わせたら、自分から挨拶する          | 94.1  | 93.6  | 93.5   | 92.4   | 95.6   | 98.4  | 95.0  | 95.8 | 92.6  | 94.9   | 94.9  | 94.9    | 94.9 | 94.9  | 94.9 | 94.9  | 94.9 | 94.9 | 94.9 | 94.9 | 94.9 |
| 8    | 出入口や曲がり角では歩をゆるめ、通路を横切るときは左右を確認する | 93.1  | 92.3  | 93.1   | 93.5   | 95.8   | 94.6  | 94.6  | 93.0 | 94.9  | 94.9   | 94.9  | 94.9    | 94.9 | 94.9  | 94.9 | 94.9  | 94.9 | 94.9 | 94.9 | 94.9 | 94.9 |
| 9    | 時間にゆとりのある通勤を心がけている               | 93.1  | 91.9  | 92.8   | 92.6   | 95.6   | 98.4  | 95.9  | 92.7 | 90.8  | 94.3   | 97.1  | 96.7    | 92.3 | 91.2  | 92.2 | 94.1  | 91.6 | 94.6 | 93.8 | 94.6 | 93.0 |
| 10   | 毎日の朝礼やミーティングで作業内容を確認する           | 91.1  | 92.8  | 94.9   | 91.3   | 93.5   | 93.6  | 94.3  | 91.3 | 91.3  | 91.3   | 91.3  | 91.3    | 91.3 | 91.3  | 91.3 | 91.3  | 91.3 | 91.3 | 91.3 | 91.3 | 91.3 |
| 11   | 走らず、歩いて通行している                    | 90.1  | 88.7  | 89.5   | 91.9   | 93.7   | 94.1  | 90.7  | 89.0 | 91.8  | 91.8   | 91.8  | 91.8    | 91.8 | 91.8  | 91.8 | 91.8  | 91.8 | 91.8 | 91.8 | 91.8 | 91.8 |
| 12   | 危ないところがあった場合、言いやすい職場である          | 89.1  | 91.3  | 87.0   | 90.2   | 90.4   | 92.6  | 91.1  | 91.8 | 88.9  | 89.1   | 89.1  | 100.0   | 93.9 | 94.1  | 93.6 | 89.0  | 87.8 | 91.7 | 89.2 | 90.3 | 91.8 |
| 13   | 定期的に安全教育を受けている                   | 88.1  | 88.4  | 93.1   | 88.9   | 88.4   | 84.9  | 89.7  | 86.1 | 90.0  | 90.0   | 90.0  | 90.0    | 90.0 | 90.0  | 90.0 | 90.0  | 90.0 | 90.0 | 90.0 | 90.0 | 90.0 |
| 14   | あなたの課は安全意識が高いと思う                 | 87.1  | 83.6  | 80.4   | 83.3   | 85.3   | 87.6  | 90.3  | 80.5 | 81.3  | 81.3   | 81.3  | 81.3    | 81.3 | 81.3  | 81.3 | 81.3  | 81.3 | 81.3 | 81.3 | 81.3 | 81.3 |
| 15   | 階段を昇降する時は手すりを使っている               | 77.1  | 71.6  | 77.3   | 73.4   | 79.4   | 85.4  | 73.9  | 78.2 | 75.4  | 78.1   | 78.1  | 78.1    | 78.1 | 78.1  | 78.1 | 78.1  | 78.1 | 78.1 | 78.1 | 78.1 | 78.1 |
| 16   | 同じ部署の従業員の不安全行動を見たことがある           | 41.1  | 42.5  | 50.7   | 43.2   | 38.7   | 48.9  | 32.2  | 43.7 | 51.1  | 48.6   | 48.6  | 48.6    | 48.6 | 48.6  | 48.6 | 48.6  | 48.6 | 48.6 | 48.6 | 48.6 | 48.6 |
| 17   | トラブル時、機械を停止させて怒られたことがある          | 16.1  | 16.5  | 19.6   | 15.1   | 15.7   | 14.0  | 15.5  | 12.7 | 19.6  | 15.6   | 15.6  | 15.6    | 15.6 | 15.6  | 15.6 | 15.6  | 15.6 | 15.6 | 15.6 | 15.6 | 15.6 |

■ 労働安全教育を実施する前に、従業員の安全意識のアンケート調査を実施し、年齢、勤続年数、雇用区分、部署の傾向と問題点の把握に努めています。

■ 調査結果に基づいて、対象ごとにポイントを絞って教育を実施しています。

Point!

調査・分析した結果、ベテラン社員の不安全行動の実態が把握でき、教育に反映しました。

■ 労働安全教育を実施する前に、従業員の安全意識のアンケート調査を実施し、年齢、勤続年数、雇用区分、部署の傾向と問題点の把握に努めています。

■ 調査結果に基づいて、対象ごとにポイントを絞って教育を実施しています。

Point!

調査・分析した結果、ベテラン社員の不安全行動の実態が把握でき、教育に反映しました。

※ (1~15) 平均値より低い部分に黄色の網掛け、平均値より5%超低い部分にピンクの網掛け。(16~17) 平均値より高い部分に赤の網掛け。

## 事例② 交通事故を起こさないための初期教育

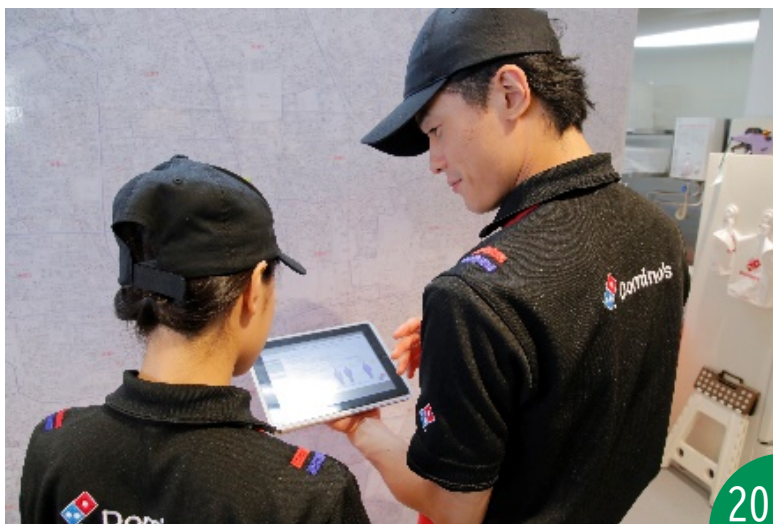
外食  
産業

株式会社ドミノ・ピザ ジャパン

- 入社時に、安全運転に関する知識、意識、技術を e-ラーニングで受講してもらいます。
- その後OJTを実施し、店長が許可すると、1人で配達できるようになります。
- 車両の整備方法もe-ラーニングで学びます。毎日、最初に運転する車両は必ずチェックしています。

Point!

e-ラーニングでは、良い事例と悪い事例を示し、教育効果を高めています。

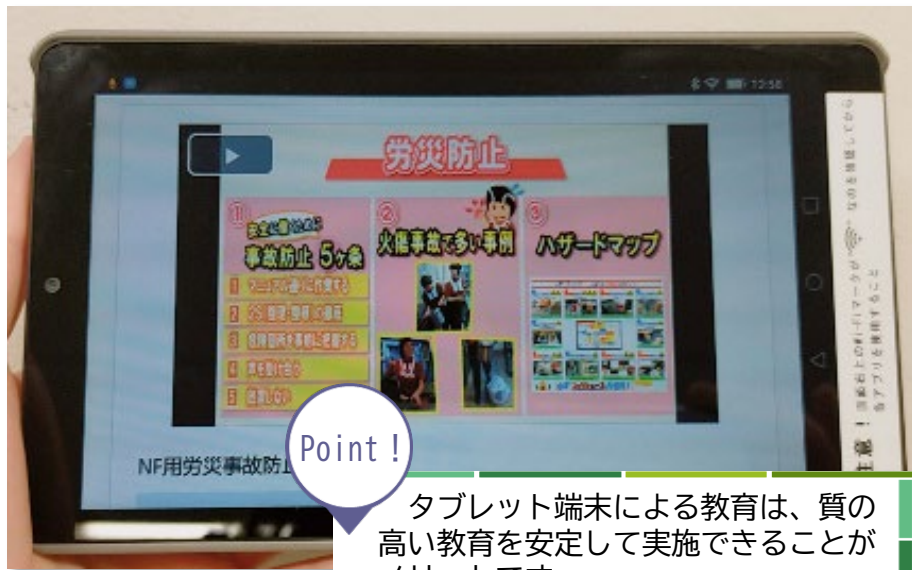


## 事例③

### タブレット端末による安全教育

〇〇〇〇〇

- 入社3ヶ月以内の事故割合が高いので、初期教育には力を入れています。
- タブレット端末による教育、管理者の教育、OJTを並行して実施しています。
- 外国人労働者向けには、複数の言語のバージョンを作成し、使用しています。



Point!

タブレット端末による教育は、質の高い教育を安定して実施できることがメリットです。

## 事例④

### 体験型安全教育

〇〇〇〇〇

- 「国民安全の日（7月1日）」に体験学習を実施しています。
- 体験学習用の機材は、専門業者からレンタルしています。

食料品  
製造業

有楽製菓株式会社

Point!

安全作業の重要性が理解できたと、従業員の満足度も高かったです。



圧延機の挟まれ体験



機械のベルト巻き込まれ体験



指差呼称の有効性体験



滑りやすい床の体験

## 事例⑤

# 危険箇所把握のためのK Y T

〇〇〇〇〇

外食  
産業

エームサービス株式会社

- 従業員は、入社後数日間、K Y T の冊子で教育を受けます。
- 具体的には、ハザードマップを見て、危険な場所や行動を考えるトレーニングで、意識を高めます。

### Point !

K Y Tを継続することで、主体的に職場改善のアイデアを出し、取組を行う事業所が増えています。



## お役立ち情報

## K Y T（危険＝K、予知＝Y、訓練（トレーニング）＝T）

- 職場や作業の中に潜む危険要因を洗い出し、それらが引き起こすと予想される現象を作業の状況を描いたイラストシートなどを使って危険のポイントや改善対策を作業開始前に確認する訓練です。
- 従業員の危険感受性を高め、個人の行動を変え、新しい習慣にしていくことが重要です。
- とかく暗い話題になりがちな労働災害について明るく前向きにホンネで話し合しましょう。

（K Y Tの基本的な進め方）

- 1 R：現状把握      イラストを使ってどんな危険が潜んでいるかをグループで話し合う
- 2 R：本質追及      重要な項目に絞って「危険のポイント」を指差呼称する
- 3 R：対策樹立      「危険のポイント」の具体的な改善策を話し合う
- 4 R：目標設定      改善策から「行動目標」を決め、指差呼称する

- K Y Tについて、もっと詳しく知りたい方は、厚生労働省のホームページをご覧ください。



## 4. 5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）

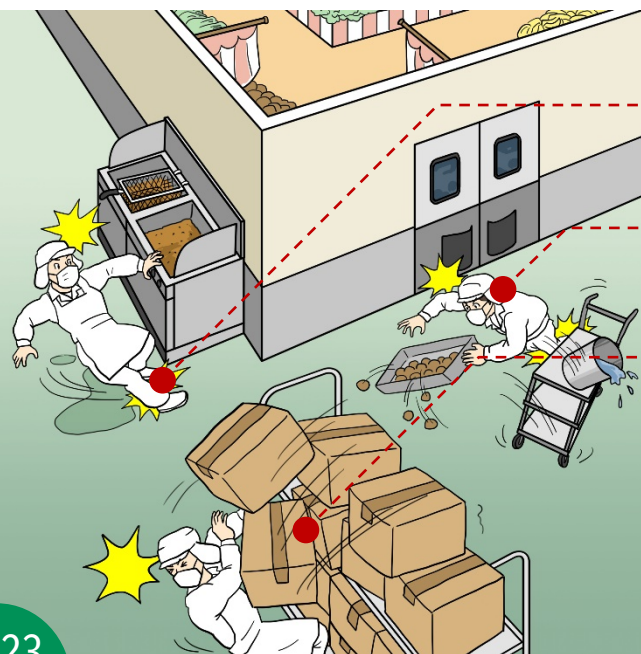
### 5Sの定義と取組のポイント

| 項目 | 定義                           | 労働安全のポイント                                                                                                                                                      |
|----|------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 整理 | 要る物と、要らない物を分けて、要らないものを処分すること | <ul style="list-style-type: none"><li>■ 職場をスッキリさせること<ul style="list-style-type: none"><li>・ 長期間、未使用の物は思い切って処分</li><li>・ 物は必要最低限（余剰に物を持たない）</li></ul></li></ul> |
| 整頓 | 要る物を所定の場所に置いて、表示すること         | <ul style="list-style-type: none"><li>■ 作業性、安全性を考慮した置き場、置き方にして、表示で指定席化すること<ul style="list-style-type: none"><li>・ 決められた場所にきちんと置く（戻す）</li></ul></li></ul>       |
| 清掃 | 身の回りの物や職場を掃除すること             | <ul style="list-style-type: none"><li>■ 設備トラブルによる非定常作業は労働災害の主要因。十分な清掃で機械の不調を予防すること</li></ul>                                                                   |
| 清潔 | いつでも不快感を与えないようにキレイに保つこと      | <ul style="list-style-type: none"><li>■ 整理、整頓、清掃を繰り返し、維持、レベルアップに努めること<ul style="list-style-type: none"><li>・ 機械設備、床などはピカピカに磨く</li></ul></li></ul>              |
| 躰  | ルールを守り、守らせること                | <ul style="list-style-type: none"><li>■ ルール遵守が安全の基本<ul style="list-style-type: none"><li>・ 経営層・管理者が率先垂範で実施</li></ul></li></ul>                                 |

\*この他、継続の意味で「習慣化」を加えた6Sという場合もあります。

### 5Sが不十分なことによる労働安全の主な問題点と対応策

- 5Sは、労働安全の基盤。5Sが不十分な職場は労働災害を引き起こす問題が潜んでいます。



- 清掃不十分で飛び散った油に足を滑らせ転倒  
➢ 床の油汚れは、こまめに清掃
- 整頓不十分で、放置された台車につまづき転倒  
➢ 所定の場所にきちんと置く
- 整理不十分で、荷崩れしてケガ  
➢ 不要物は処分して、スッキリさせる

#### お役立ち情報 5Sチェックシート

職場の5Sレベルをチェックしてみましょう。チェックリストは、QRコードからダウンロードできます。



# 5. 危険の把握

## 職場の危険を把握する方法①（リスクアセスメント）

### ■ なぜリスクアセスメントが必要か？

- ・ リスクアセスメントとは、自主的に職場の潜在的な危険性や有害性を見つけ出し、事前に安全衛生対策を講じることです。
- ・ 労働災害が発生していない職場であっても潜在的な危険性や有害性があり、放置されると、いつかは労働災害が発生する可能性があります。
- ・ 労働災害を防止するためには、発生した労働災害の再発防止策だけでなく未然防止の対策が必要不可欠です。

### 1. 職場のリスクを見つける

- 作業標準書などから、各作業の危険性または有害性を特定します。
- 危険性又は有害性に人が接する状態をリスクといいます。労働災害は、リスクのあるところに安全対策の不備、不具合等が重なると発生します。
- ここで大切なことは、潜在的な危険性や有害性を見つけることです。災害が起きていなくても災害になる可能性があるリスクを見つけましょう。

### 2. リスクの程度を判断する

- 災害の可能性と被災の程度を、予め決めた基準に従って区分します。
- 区分した結果を、右下のような見積表でリスクを見積もります。
- 見積もったリスクから、リスクの程度を判断します。

（リスクの程度の判断例：ミートスライサーで指を切る）

- ① 転倒災害が発生する可能性⇒区分：高い（×）
- ② 転倒災害に被災した時の重篤性⇒区分：致命的・重大（×）
- ③ リスクの見積り：リスクレベルⅢ⇒すぐにリスク低減措置が必要

|        |          |   | 被災の程度  |     |    |
|--------|----------|---|--------|-----|----|
|        |          |   | 致命的・重大 | 中程度 | 軽度 |
|        |          |   | ×      | △   | ○  |
| 災害の可能性 | 可能性が高い   | × | Ⅲ      | Ⅲ   | Ⅱ  |
|        | 可能性がある   | △ | Ⅲ      | Ⅱ   | Ⅰ  |
|        | 可能性がほぼない | ○ | Ⅱ      | Ⅰ   | Ⅰ  |

### 3. 程度の高いものから対策実施

- 見積もったリスクの程度が高いものからリスクを低減させる方法を検討し、実施しましょう。
- リスクを低減させる方法は、以下の順に検討しましょう。

(食料品小売業の切れ・こすれリスクの低減方法の例)

#### 1. 危険性・有害性の除去・低減

- ・ 精肉加工工場であらかじめスライスしておき、店内作業をなくす。

#### 2. 工学的対策

- ・ 精肉用のスライサーの刃の部分にガードを取付ける。

#### 3. 管理的対策

- ・ 作業マニュアルやルールを作成し、定期的に従業員に教育する。
- ・ 切れ・こすれリスクがある場所に注意喚起の表示をする。

#### 4. 個人用保護具の使用

- ・ 耐切創手袋を着用する。

### 4. 継続して実施する

- リスクをゼロにすることはできません。また、新しい機械の導入、作業方法の変更など社内環境の変化でリスクも変化します。このため、労働災害を防止するためには、リスクアセスメントを繰り返し実施することが大切です。

#### お役立ち情報 リスクアセスメントをもっと詳しく知りたい

厚生労働省では、リスクアセスメントに関する各種教材をご提供しています。



#### お役立ち情報 安全衛生の診断や指導をして欲しい（有料）

- そもそも何が危険かわからない、何をすれば良いのかわからない場合は、労働安全の専門家を活用することも手段の一つです。

□ （一社）日本労働安全衛生コンサルタント会  
(<https://www.jashcon.or.jp/contents/>)

□ 中央労働災害防止協会 (<https://www.jisha.or.jp/service/>)

\*ただし、安全衛生サポート事業は無料です。詳しくは58ページでご確認下さい。

## ▶ 職場の危険を把握する方法②（ヒヤリハット活動）

- ヒヤリハット活動は、従業員が体験した「ヒヤリ」「ハット」した出来事を報告してもらい、改善につなげる活動です。

（ヒヤリハット活動の手順）

### 1. ヒヤリハット体験を報告する

- ・ 作業者が気づいた時に報告できるようにする。
- ・ 些細なことでも報告できるようにする。

### 2. ヒヤリハット情報を共有する

- ・ 発生原因を個人の不注意で済ませないようにする。
- ・ 報告されたヒヤリハットの周知方法をあらかじめ決めておく。

### 3. ヒヤリハット情報を活用する

- ・ トップや管理者が確認し、改善の意志表示をする。
- ・ 実際に災害が生じた場合の影響も考慮し、優先順位を付けて防止対策を検討する。

## ▶ 職場の危険を把握する方法③（安全パトロール）

- 安全パトロールは、職場を巡視してリスクがないか確認し、指導する取組です。

（安全パトロールの手順）

### 1. パトロールの目的を決める

（主な目的）

- ・ 現場にリスクがないか確認する。
- ・ 指示された事が守られているか確認する。
- ・ 従業員の困り事を聞く。
- ・ 良い取組を褒め、モチベーションを高める。

### 2. 目的に合わせパトロールする

（主な確認事項）

- ・ 不安全状態と不安全行動
- ・ 設備・機械の保全
- ・ 職場の5S
- ・ 作業者に対する監督

### 3. パトロール後の改善指示

- ・ パトロール結果を現場の責任者に伝達し、必要に応じて改善を指示する。

## お役立ち情報 ヒヤリハット事例のご紹介

- 厚生労働省の職場のあんぜんサイトでは、労働災害の種類別にヒヤリハット事例をご紹介します。

